

【台湾の気候】

11月下旬でもヒマワリが咲いています。台湾の気候は暖かいことが影響しているのだと思いますが、日本でも11月に満開を向かえるヒマワリがあるそうですね。

それでも、台湾はやはり暖かいです。11月下旬でも、気温が高い日があったり、蚊が飛んでいたります。

1日前はとても暖かかったけれども、急に寒くなることもあり、気候の変化が大きいです。そのため、体調管理が重要です。



【大学のテスト】

少し前のことですが、中間テストについて書きます。学校の予定では、10月の最終週にテスト期間が設けられています。私の場合は、先生の都合等により、テストが前後に移動し3週間テスト期間がある状態でした。日本では、多くがレポートや試験当日に自分の意見を記述するものが多かったのですが、今回は全て筆記テストだったため、準備が大変でした。高校卒業して以来、これほどテスト勉強をしっかりとしたのは、初めてです。中間テスト以外にも、小テストもあります。さらに、中間テストの後は発表がある授業もあり、準備が大変ですが、何とか乗り切りました。

【ゼミの研究】

私は、ゼミで台湾の半導体企業である台湾積体電路(TSMC)について調べています。そのため、台湾の新竹というところにあるTSMC博物館の見学ツアーに参加しました。中間テストが終わり時間に少し余裕ができたため、急遽ツアーに参加しようと思ったのですが、この見学ツアーは2か月先まで予約が埋まっている状況が普通であると聞いたため、ダメ元でサイトを確認したところ11月に1か所だけ空きがあり、参加できました。

台北から新竹までバスで片道2時間ほどでした。私以外には、



日本人の団体と、ヨーロッパ系やインド系の旅行客が複数組いました。TSMC の概要、歴史や創設者モリス・チャンについての案内と展示でした。



11 月の後半の方で師大に TSMC の方が来て講演会を開くとのことだったため、参加しました。およそ 100 人が参加しました。ネットでは得られにくい情報もあったため、ゼミの研究に活かせそうでよかったです。

専門的な内容と話すスピードが速いとで、半分も理解できたかわかりませんが、PPT があったおかげで、なんとなく流れをつかむことができました。今後は博物館訪問や講習会で得た情報を整理して、論文に組み込んでいきます。画像は、博物館に展示されていたものの 1 つです。「厳峻挑戦的後面是美好的未來」(厳しい挑戦の先には明るい未来がある)と書かれています。

【日本人は占いが好き？】

行天宮の近くにある地下道に占い横丁という場所があります。入口には日本語で、「いらっしゃいませ」「日本語 OK」と書かれている店が多いです。私が通りかかった時に「占いどうですか」と聞いてきたお店の人もいました。そのくらい日本人がよく来るのだと思います。大学の先生も日本人は占いが好きだよねと言っていました。

私は、1 度も占いをやってもらったことがないため、挑戦してみようと思ったのですが、15 分で 1000 元(5000 円しないくらい)が相場だと知り、そもそも占いを信じるタイプでもないため、やめることにしました。占いに興味のある方は行って見てもいいと思います。



↑ 行天宮の近くの地下道「占い横丁」